

経営比較分析表（平成29年度決算）

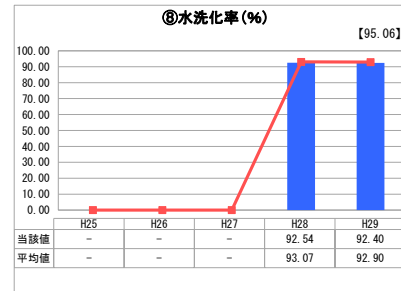
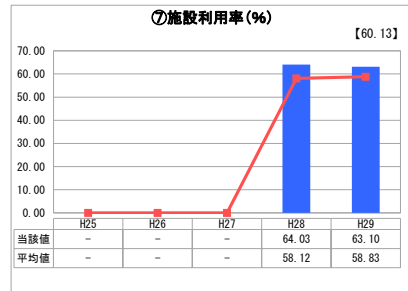
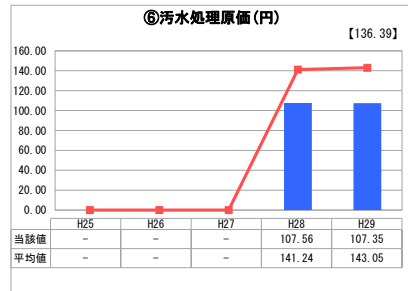
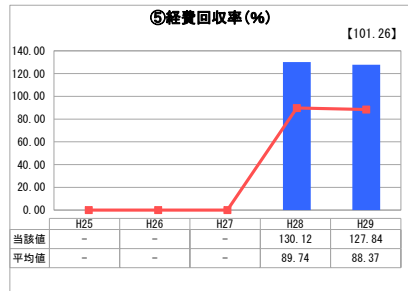
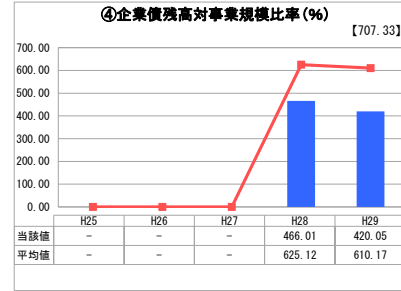
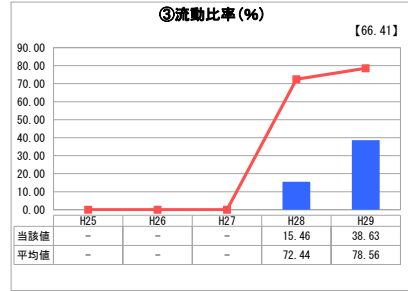
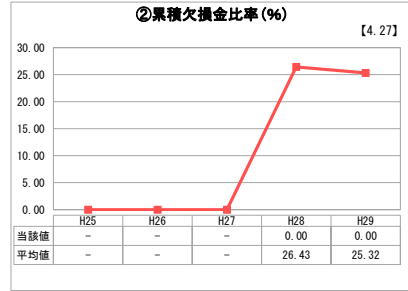
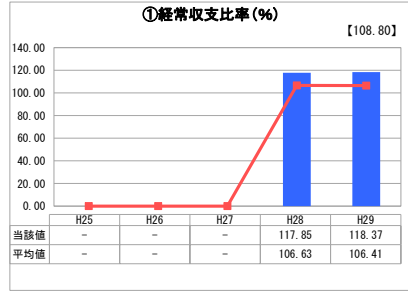
兵庫県 高砂市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bc1 | 自治体職員 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) |
| - | 48.66 | 95.83 | 89.14 | 2,268 |

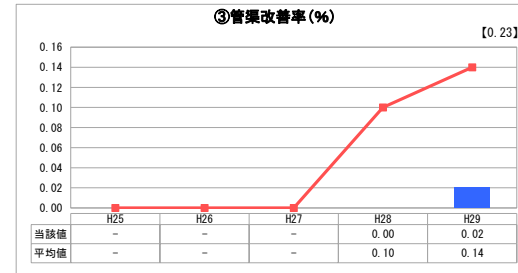
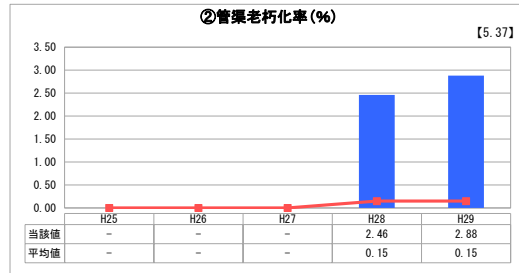
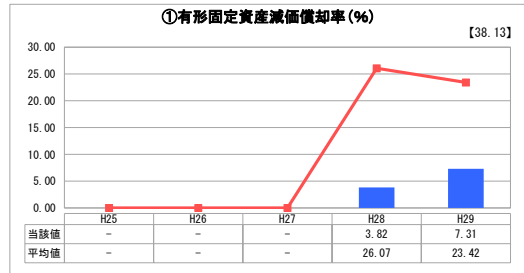
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 92,020 | 34.38 | 2,676.56 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 87,877 | 13.76 | 6,386.41 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 平成29年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤経費回収率は昨年度同様それぞれ100%を超えており、かつ、類似団体平均及び全国平均を上回っており、健全経営がなされているといえる。

③について、全国平均、類似団体平均に比べて低い理由は、流動資産である現金預金がかかなり少なく、流動負債の元金償還金が極端に多いことが要因である。これは、本市の地理的要因によるもので、処理場ポンプ場等の施設の建設に投資してきた額が類似団体より多いためである。ただ、企業債償還金は今は減少し続けるため、改善していく見込みである。

④について、全国平均、類似団体平均に比べて低い数値となっており、適正な水準である。企業債残高も減少し続けており、今後も適正な数値が続く見込みである。

⑥汚水処理原価は類似団体及び全国平均との比較では低い値となっているが、使用料収入が減少傾向にあることや今後の更新投資のため、更なる費用の削減に努める必要がある。

⑦について、全国平均・類似団体と同水準を保っており、経営の健全性・効率性を保っている。

⑧について、本市は汚水整備工事を現在もっており、供用開始の状況により数値に変動がある。その中で、類似団体と比べると同水準を保っていることから経営努力の成果があるといえる。

2. 老朽化の状況について

②③について、管渠の老朽化については全国平均を下回っており、緊急性を要していないため、近年、管渠の更新工事を行っていない。また、本市は前述のとおり、現在も汚水整備工事をしている上に、近年、浸水対策として雨水事業に集中的に取り組んでおり、管渠の老朽化対策が進んでいないのが現状である。

全体総括

平成28年度に本市の下水道事業に地方公営企業法の適用を行ったため、昨年度との比較のみとなる。過去に発行した企業債により経営の硬直状態が続いているが、今後、償還が進み次第に解消する見込みである。

また、社会情勢をみると、人口減少や節水型社会が進むことが想定され、引き続き、経費節減、水洗化率の向上に取り組み、各種経営指標を用いて、経営改善に努めていく。

施設の老朽化についても、今後、ストックマネジメント計画を導入し、施設・管渠の改築更新を継続的に進めていく予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。